

所 属	林政部	森林整備課
担当(係)名	間伐担当	内線 3194

森林の集約化や森林境界の明確化などの活動を重点支援

<ふるさと雇用再生特別基金事業>
<森林整備加速化・林業再生基金事業>

1 事業費	【財源内訳】		【主な用途】
186,048	一般財源	186,048	委託費 77,728
(前年度81,777)			補助金 108,000

2 背景・現状

森林の整備、間伐施業を効率的に進めるためには、小規模で分散している施業地をばらばらに実施するのではなく、集約化し、効率的に実施することが必要である。

しかし、県内の森林は、小規模な面積の所有者が多く、施業地も分散している。また森林所有者の高齢化や世代交代、不在村化等が進み、所有境界が不明確な森林も増えており、集約化が遅れている。

3 事業目的

効率的な森林整備、間伐を推進するため、森林境界の明確化、施業地の集約化を促進するとともに、こうした取り組みを進めるための人材を育成する。

4 事業概要

(1) 森林施業集約化モデル事業費[77,728千円]

<ふるさと雇用再生特別基金事業>
森林所有境界明確化や施業地集約化の作業を補助する人員を新規雇用。
必要な知識、技術、経験を実地作業により習得させる。事業は実施主体を公募し、審査を経て委託により実施
<事業主体> 森林組合、森林整備法人等

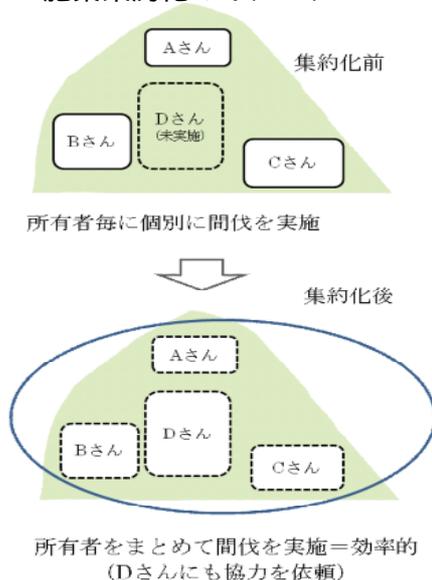
(2) 森林境界明確化加速化事業費[99,320千円]

<森林整備加速化・林業再生基金事業>
森林境界の明確化の作業を実施する事業主体に対し、取組みに要した経費を定額で補助
<事業主体> 森林組合、森林組合連合会、森林整備法人等
<補助率> 国費10/10(45,000円/haを上限とする)
<採択要件> 集約化計画の策定
<境界明確化面積> 2,200ha

(3) 森林整備地域活動支援交付金[9,000千円]

森林所有者が実施する森林境界の明確化に対して交付金を交付
<事業主体> 市町村
<補助率> 国費10/10(20,000円/ha)
<境界明確化面積> 450ha

<施業集約化のイメージ>



<集約化施業とは>

一定のまとまりをもった区域において、小規模及び分散する間伐等の必要な森林をとりまとめるなど、複数の森林施業を集積し、必要な作業路網の計画・整備、高性能林業機械の導入等により、一体的、効率的に行う施業

(款)5労働費 (項)1労政費 (目)(3)雇用促進費
(明細書事業名) 緊急雇用特別対策費
委託事業費

(款)6農林水産業費(項)5林業費(目)(3)県産材流通対策費
(明細書事業名) 木材生産流通対策費
森林境界明確化加速化事業費補助金 他